

たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

入学説明会

入学説明会で我が子が入学した頃の話をした。小学校に勤めていると同じ年齢の子どもたちと生活しているためか、自分の年齢を正確につかめなくなる。自分よりも十も二十も年下の先生と、さして年齢が変わらないような気持ちで話をしてしまう。しかし、我が子は世間の時間の流れどおりに大きくなるものだから、就職とか結婚とかの節目で、自分がずいぶん年をとったことに気づかされる。

携帯の待ち受け画面をお孫さんの写真にしている先輩がいて、「お孫さんですか。」とたずねるとうれしそうに孫の話をされる。人様の目にふれるだろう携帯の待ち受けに私的なものをのせるのはいかなものかなと思った。自分は孫ができてそんなふうにはならないだろうとも思った。それが恥ずかしながら私の携帯の待ち受け画面では、孫が船穂のマスカットをさもおいしそうに食べている。長男夫婦は中庄で暮らしていて、両親が用事がある時や体調がよくなって保育園を休む時など、孫は我が家で過ごしている。先日も、畑の耕運を朝からして「やれやれしんどかった。」と夕方にビールをコップについて飲もうとした。それを孫が見て、「おじいちゃん、ビールは暗くなってからおばあちゃんが言ったでしょ。」と言う。「うんうん。」と返して飲んでいると、「ちょっと！！聞いてる？」とピシャリとやられた。家で母親に言われている口調をまねたのだろうが、腹がたつどころかその言い回しがおかしくて笑ってしまった。

孫が生まれて学校で子どもたちをみる目も変わってきたように思う。以前は、子どもたちの行動をみて、すぐに善悪の指導の言葉をかけていたけれども、最近はどうも切れがない。子どもたちが孫と同じように思え、判断が甘くなっている自分に気づくことがある。

長く教員をしてきて、子どもという存在が両親や祖母にとってとれほど大事でかけがえのないものかがようやくわかったように思う。四月に入学してくる船穂小学校の新入生を我が子、我が孫と同様に大切に思い、先生方と力を合わせてがんばりたいと入学説明会の席で思った。

